

【パブログ簿記 貸借対照表と損益計算書の解き方ビデオ】

問題

次の東京商店の資料（１）残高試算表、（２）未処理事項および（３）決算整理事項にもとづいて、答案用紙の空欄に適切な語句または金額を記入して、貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。なお、当期の会計期間は平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間である。

（１）残高試算表

残 高 試 算 表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
440,100	現 金	
2,900	現 金 過 不 足	
962,000	当 座 預 金	
461,000	受 取 手 形	
343,000	売 掛 金	
840,000	売買目的有価証券	
101,000	繰 越 商 品	
1,000,000	建 物	
	支 払 手 形	240,000
	買 掛 金	370,000
	仮 受 金	4,000
	借 入 金	400,000
	貸 倒 引 当 金	3,000
	建物減価償却累計額	540,000
	資 本 金	2,000,000
	売 上	10,640,000
	受 取 配 当 金	16,000
8,910,000	仕 入	
693,000	給 料	
197,000	水 道 光 熱 費	
54,000	通 信 費	
75,000	消 耗 品 費	
134,000	支 払 地 代	
14,213,000		14,213,000

（２）未処理事項

1. 現金過不足額のうち、¥2,500 は通信費の未記帳分であることが判明したが、残額については決算日現在その発生原因が不明であったので、適切な処理をした。
2. 仮受金は、全額得意先に対する売掛金の回収額であることが判明した。

（３）決算整理事項

1. 期末商品棚卸高は¥92,000 である。
2. 売買目的有価証券の時価は¥871,000 である。時価法により評価替えを行う。
3. 受取手形および売掛金の期末残高に対して、2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
4. 建物について、残存価額を取得原価の 10%、耐用年数を 25 年とする定額法によって減価償却を行う。
5. 消耗品の期末未消費高は¥29,000 である。
6. 借入金は、平成 27 年 8 月 1 日に年利率 3%、期間 10 か月の条件で借り入れたものであり、決算にあたって利息の未払い分を計上する。
7. 地代の前払分は¥4,000 である。